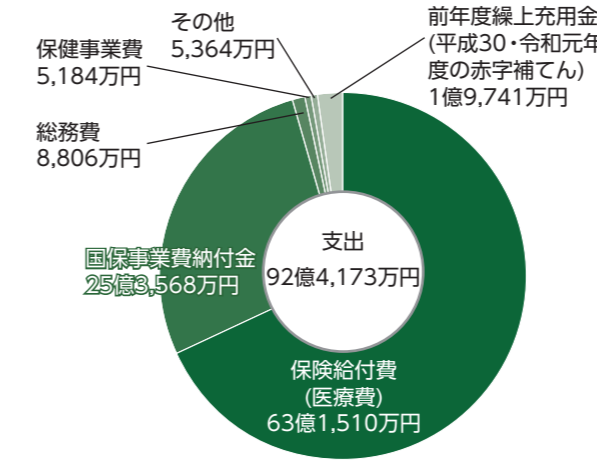
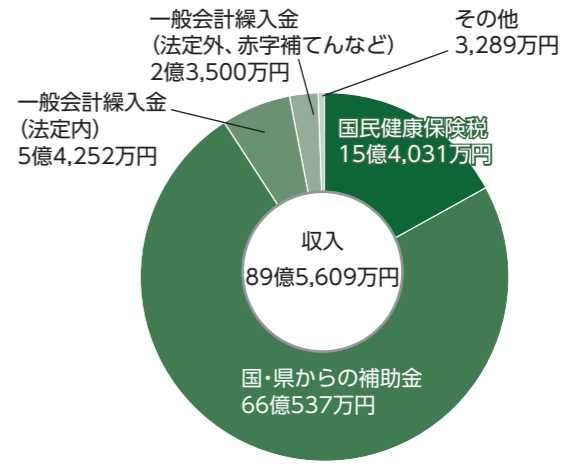


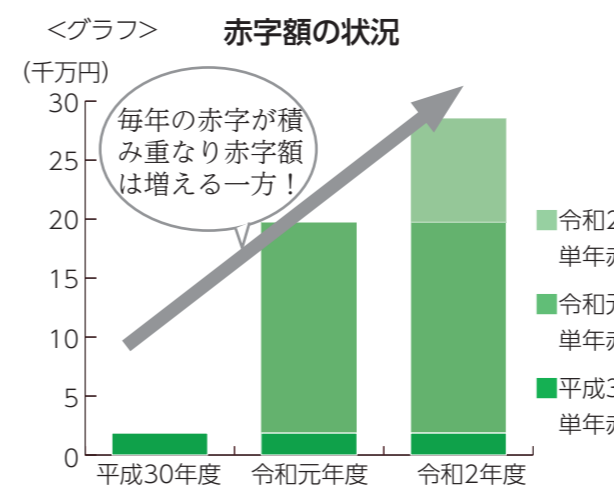
令和2年度国民健康保険特別会計決算見込み〜3年連続の赤字決算〜



<表>

	収入額	支出額	差引
平成30年度	96億5,866万円	96億7,725万円	△1,859万円
令和元年度	92億643万円	94億384万円	△1億9,741万円
令和2年度	89億5,609万円	92億4,173万円	△2億8,564万円

国民健康保険特別会計の決算は、加入者の減少や、他市に比べて税率を低く抑えているため収入額が伸びず、支出額を賄うことができませんでした。このため、3年連続の赤字となりました。▶表



赤字となる場合、通常は基金(貯金)を取崩して赤字を補いますが、三木市国民健康保険特別会計は基金残高がゼロのため、取崩しができず、不足分は翌年度会計から繰り上げて補いました。これは現在の借金を翌年度の収入から補てんし、赤字を先送りしている状況です。そのため、累積赤字額は年々増えています。▶グラフ

※兵庫県下の国民健康保険特別会計で基金(貯金)を保有していないのは三木市だけです。

●今後の見通し
国保加入者数は、定年後も就労する方の増加や、団塊の世代の方の75歳到達による後期高齢者医療制度への移行の増加により、今後も減少する見込みです。

また、高齢化や医療技術の進歩により、一人当たりの医療費は年々増加しています。そのため、県に納める国保事業費納付金は、加入者数が減っているにも関わらず、ほぼ同額の状況が続いています。

このままでは、毎年赤字決算が続く、国民健康保険を将来にわたり安定的で持続可能な医療保険制度として維持できなくなります。そうならないよう、本年度中に「国民健康保険事業財政健全化計画」を策定し、財政の健全化を進めます。

健診 特定健診のコールセンターを設置します

●特定健診について聞きたいことはありませんか？
「特定健診はなぜ受診しないといけないの」「受診して何が分かるの」など、特定健診に関する疑問や不安に答えるコールセンターを設置します。ぜひ利用してください。

●特定健診の申込はお済みですか？
国民健康保険の加入者で特定健診の受診申込をしていない方を対象に、電話勧奨を実施します。連絡などはコールセンターから行います。ぜひ、特定健診を受診してください。

●実施時期 9月中旬〜10月上旬

●(市)医療保険課 国民健康保険係

●コールセンター
☎0120・154・131

●設置期間 10月31日(日)まで



国保 重複・多剤服薬を見直しましょう

重複服薬^{※1}や多剤服薬^{※2}が続くと、薬の効能が発揮されないどころか副作用により症状が悪化する恐れがあります。医療費も高くなります。

市では、国民健康保険の加入者で該当する方に、重複・多剤服薬の危険性やお薬手帳の重要性に関する文書の送付や電話・訪問指導などを実施します。

●通知送付期間 9月下旬

●電話訪問時期 10月〜11月上旬

●(市)医療保険課 国民健康保険係

※1 同じ時期に複数の医療機関を受診し、同じ効能の薬が重複して処方され、服薬することです。

※2 必要以上に多くの種類の薬が処方され、服薬することです。

認知症 ワークを知っていますか？

認知症高齢者などが行方不明になった時に、警察だけでなく地域の関係機関・事業所が協力して、速やかに行方不明者を発見、保護する仕組みです。

●登録方法
見守りを希望する方やその家族は、事前登録をして下さい。ホームページや市役所3階介護保険課にある書類に必要事項を記入し、顔写真・全身写真を添えて提出してください。

●協力機関を募集します
コンビニエンスストアや個人商店など、日頃の業務の中で気になる方を見かけたときに、声かけとともに、協力関係機関(市役所など)へ連絡をする事業者などを募集しています。ぜひ登録し、協力をお願いします。

●市民の皆さまも協力をお願いします
三木市安全安心ネットでは、携帯電話やパソコンのメールを使って、防災・防犯・高齢者などの行方不明に関する情報を配信しています。ぜひ登録して、早期発見・保護への協力をお願いします。

9月は世界アルツハイマー月間
認知症になっても安心して暮らせる地域をめざしましょう。

▲認知症に関する取り組みはこちら

▲ホームページはこちら

●(市)介護保険課

▲三木市安全安心ネットはこちら